

株式会社パスコ【9232】

2024年3月期第2四半期 決算説明会

70th
ANNIVERSARY
since 1953

会社紹介動画をご覧ください。



【2023年11月10日】

株式会社パスコ【9232】

2024年3月期第2四半期 決算説明会



代表取締役社長 高橋 識光 / 常務取締役 宮本 和久

プログラム

【1】 会社概要

常務取締役 宮本 和久

【2】 連結決算の概要と業績予想

常務取締役 宮本 和久

【3】 パスコグループ中期経営計画 2023-2025

代表取締役社長 高橋識光

計画の概要説明
当期の活動状況

【1】会社概要

会社概要

会社名

株式会社パスコ

代表者

代表取締役社長 高橋 識光

株式上場

東京証券取引所 スタンダード市場（証券コード：9232）

事業内容

人工衛星、航空機、車両などを使って国内外の空間情報を収集
社会の課題解決の目的に合わせて加工・処理・解析を施し、
さらに必要な情報を付加した空間情報サービスを提供

連結売上高

620億円（2023年3月期）

グループ従業員数

連結：2,848名（2023年9月末現在）

本社

東京都目黒区下目黒1-7-1 パスコ目黒さくらビル

創業

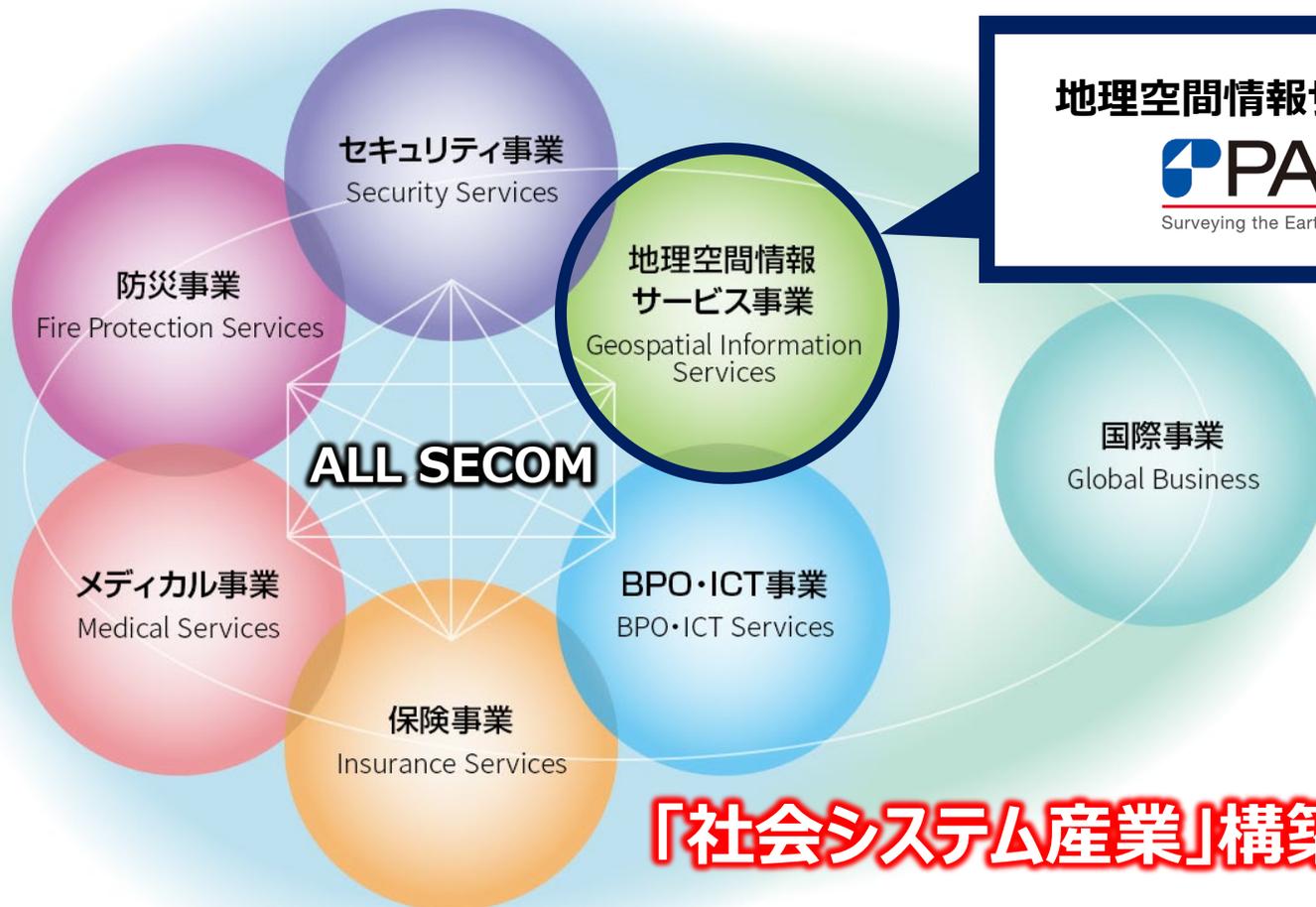
1953年10月27日（設立1949年7月15日）

主な株主

セコム株式会社

1999年8月 セコムグループ入り

信頼される安心を、社会へ。



地理空間情報サービス事業領域

PASCO

Surveying the Earth to Create the Future

「社会システム産業」構築の一翼を担う

【2】連結決算の概要と業績予想

- 当期の連結決算の概要
- 部門別事業概要と事業特性
- 部門別決算の状況
- 2024年3月期連結業績予想
- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

当期の連結決算の概要

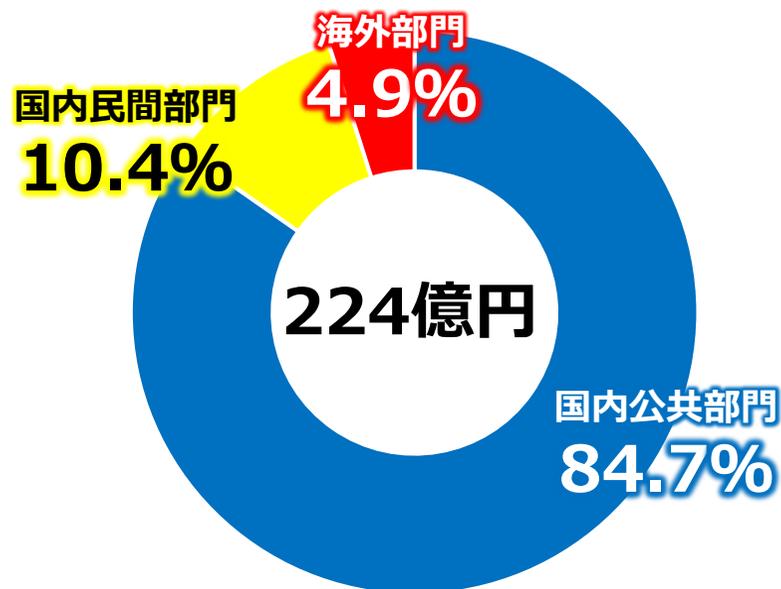
(単位：百万円、百万円未満切捨て)

	前期 (2022年9月)	当期 (2023年9月)	増減率
売上高	24,318	22,425	△7.8%
営業利益	△351	△2,010	-
経常利益	△302	△1,931	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	477	△319	-

※連結決算の解説

- 1) 売上高は、国内公共部門における、航空レーザ測量および地図データ整備測量業務の減少により減収
- 2) 営業利益および経常利益は、売上高の減収および工事損失引当金257百万円の計上、人員増および賃上げの影響に伴う人件費の増加により減益
- 3) 特別利益に、当期は先進光学衛星の打上げ失敗による受取損害保険金+1,625百万円、前期は目黒ビル売却益+1,096百万円を計上

部門別事業概要と事業特性



売上構成比：2023年9月期の実績より

国内民間部門

民間企業を顧客とする空間情報事業

- 物流の効率化支援
 - 企業の自然災害対策支援、BCP策定支援
 - 出店計画や商圈分析などのエリアマーケティング支援
 - 営業行為の効率化支援
- など

国内公共部門

国や地方公共団体を顧客とする空間情報事業

- 行政業務の効率化支援
 - 固定資産税評価、公共インフラ維持管理業務
 - 都市計画・防災計画の策定業務
 - 住民サービスの向上と地方財政の健全化支援
- など

国内公共部門の事業特性

発注時期は上半期に多く、納期は期末に集中するため、当社の受注は第1四半期をピークに期末に向け減少し、売上は第4四半期に向け急激に上昇する季節変動性が大きい

海外部門

ASEAN地域を中心に展開する空間情報事業

- 国土空間データ基盤整備（航空撮影、地図整備等）
 - 環境保全・災害対策
 - 道路維持管理
 - 海外子会社における測量・GIS関連事業
- など

部門別決算の状況

(単位：百万円、百万円未満切捨て)

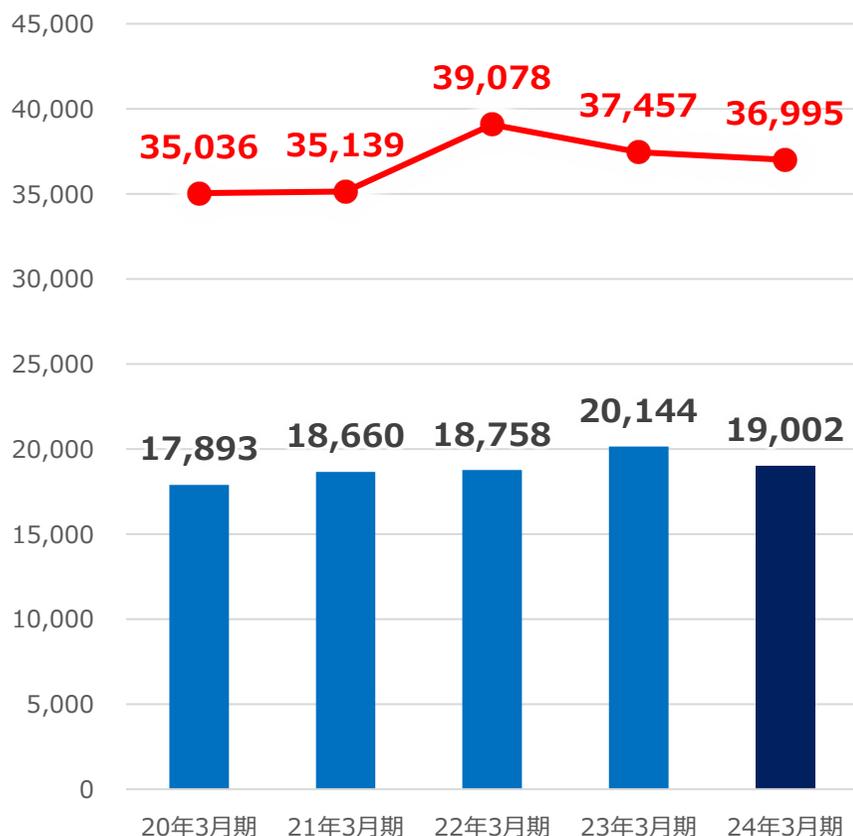
	2024年3月期第2四半期連結累計期間				受注残高	
	受注高	前年同期比	売上高	前年同期比	残高	前年同期比
国内部門	38,421	△3.4%	21,326	△7.2%	40,893	△3.2%
(公共)	36,995	△1.2%	19,002	△5.7%	36,343	△0.9%
(民間)	1,426	△38.3%	2,324	△18.3%	4,550	△18.2%
海外部門	1,053	△42.8%	1,098	△17.5%	1,223	△17.9%
合 計	39,475	△5.1%	22,425	△7.8%	42,117	△3.7%



国内公共部門

● 受注 ■ 売上

(単位：百万円/百万円未満切捨て)



受注高

36,995 百万円

(1.2 %減)

売上高

19,002 百万円

(5.7 %減)

1

国土強靱化に向けた調査・測量業務が落ち着いたことにより、航空レーザー測量および地図データ整備測量業務が減少

2

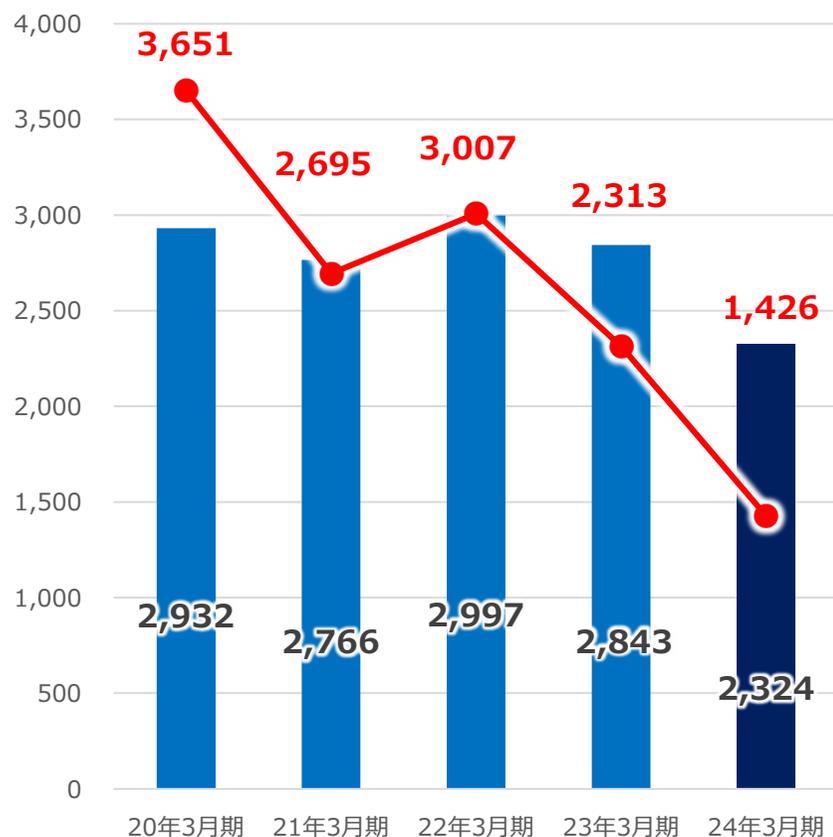
「デジタル田園都市国家構想」に基づく、各種台帳のデジタル化業務、その利活用のためのシステム導入が順調に拡大



国内民間部門

● 受注 ■ 売上

(単位：百万円/百万円未満切捨て)



受注高

1,426 百万円

(38.3 %減)

売上高

2,324 百万円

(18.3 %減)

1

車両搭載型レーザー (MMS) による
測量業務の減少

2

物流分野をはじめ各分野の
サービスラインナップの拡充

3

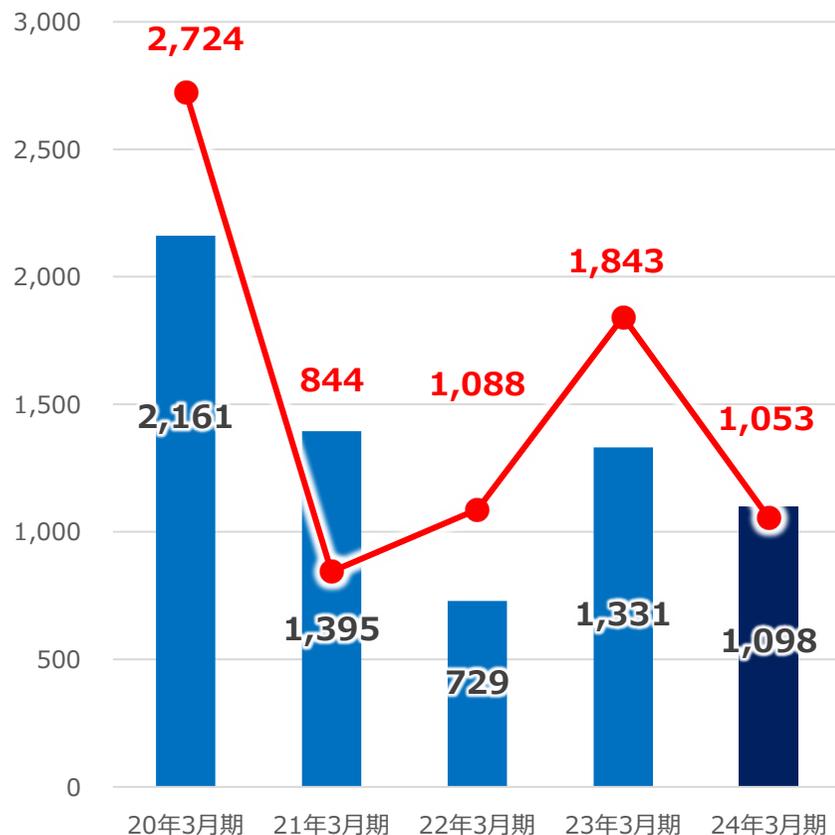
収益性向上に向けたビジネスモデルの改革



海外部門

● 受注 ■ 売上

(単位：百万円/百万円未満切捨て)



受注高

1,053 百万円

(42.8 %減)

売上高

1,098 百万円

(17.5 %減)

1

地形図作成業務等の受注が遅延

2

前期に3次元地図データ整備業務が好調であった反動減により減収

2024年3月期連結業績予想

(単位：百万円/百万円未満切捨て)

	2023年3月期実績	2024年3月期予想値	前期比増減
売上高	62,016	60,000	△3.3 %
営業利益	6,432	5,000	△22.3 %
経常利益	6,525	5,000	△23.4 %
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,099	4,500	9.8 %

年間配当金 (1株あたり)	45円	※75円
---------------	-----	------

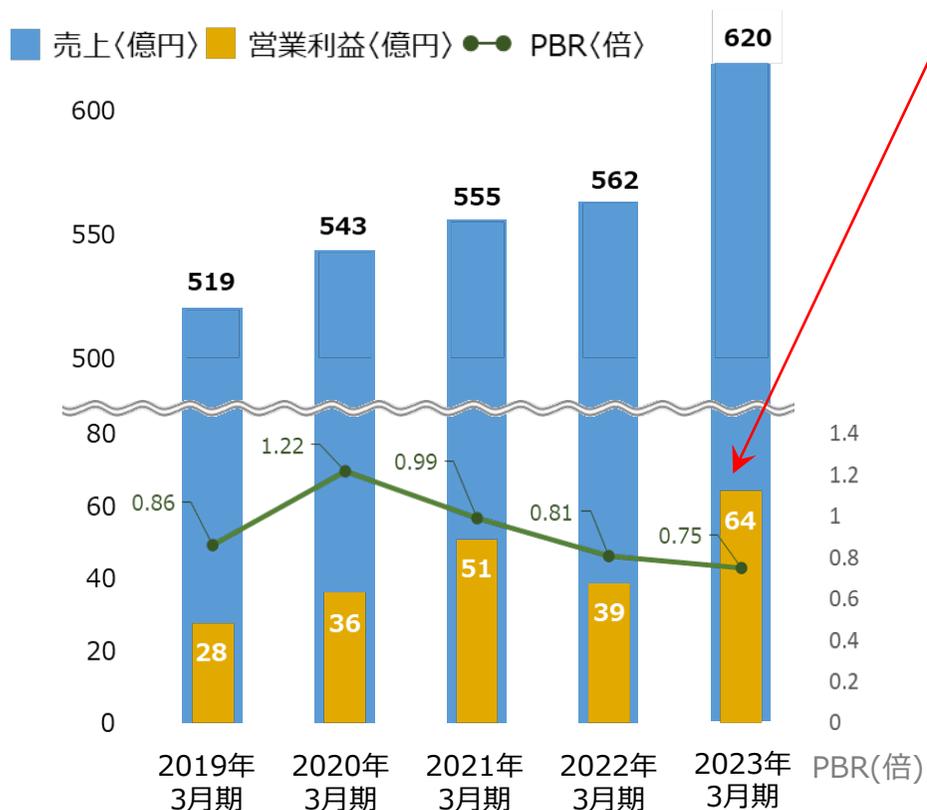
※第2四半期末 (創業70周年記念配当) 25円/期末 (普通配当) 50円

※連結業績予想の解説

- 1) 売上高は、期首受注残高の減少等により、前期比で減収
- 2) 営業利益および経常利益は、減収の影響により、前期比で減益
- 3) 親会社株主に帰属する当期純利益は、2023年3月期の先進光学衛星の打上げ失敗に係る保険金受取の影響により、前期比で増益
- 4) 年間配当金は、創業70周年記念配当25円を含め、年間75円を予定

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて

経営指標の推移



2023年3月期はPBR1.0倍未満

必要と認識する経営課題への取り組み

- 継続的な事業の拡大および成長
- 生産改革による収益性の向上
- サステナビリティ経営の推進
- 人的資本、事業進化に向けた投資
- 株主還元の強化
- 2022年度に判明した不適切会計に対する再発防止策の実行

**2023年8月策定「パスコグループ中期経営計画2023-2025」の確実な遂行により、
PBR1.0倍以上を目指す**

PBR1.0倍以上

(2023年3月末PBR : 0.75)

「パスコグループ中期経営計画2023-2025」の確実な遂行
そして、長期にわたる安定配当を実施

経営の真価計画

社会に存在を期待され、持続可能な企業経営を維持するため、経営理念を重視した健全な経営を遂行するための計画を定め、パスコの真の価値を再構築する

事業の進化計画

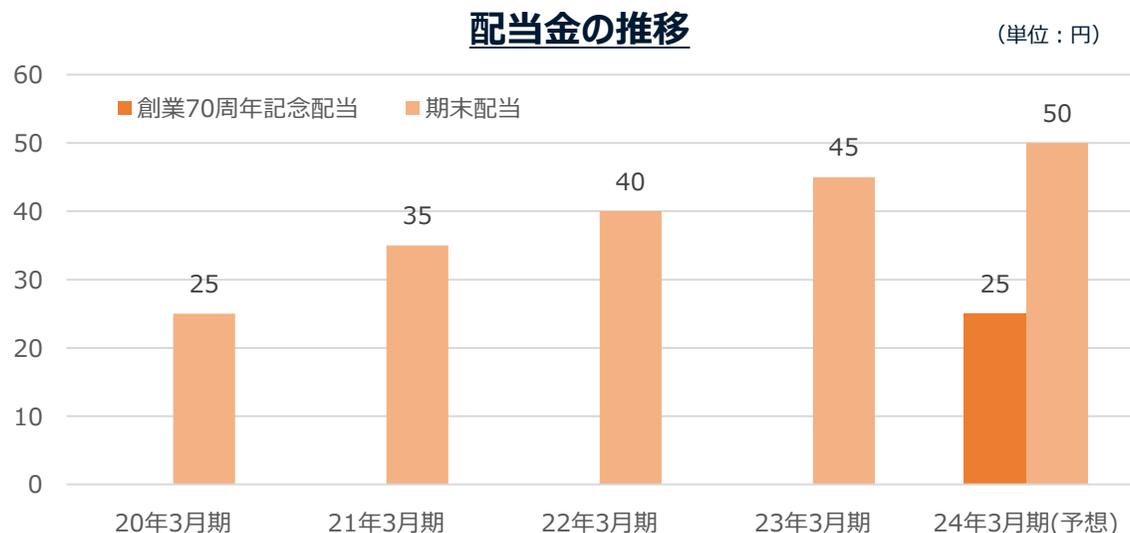
持続可能な地球環境の創出及び社会基盤の構築に貢献するため、3つの“しんか（深化・伸化・新化）”計画を策定し、空間情報事業の拡大・成長を目指す

株主還元の強化

資本効率性を重視し、長期にわたり安定した配当を実施する

※株主還元に対する方針

当社は、業績や経営環境、将来の事業展開を勘案し、企業体質の充実に努めながら、株主の皆様にも適正な利益還元を行うことを利益配分政策の最重要指針とする。



※2023年度の株主還元

- 創業70周年記念配当 1株につき25円 (基準日：2023年9月30日)
- 期末配当予想 1株につき50円

パスコグループ中期経営計画

【3】2023-2025 計画概要

2024年3月期上半期の経過

4月 28日 不適切な会計事案に対する再発防止策を公表

5月 18日 「パスコグループ中期経営計画2018-2022」における
活動成果をまとめた資料をHPに公開

6月 1日 「企業風土刷新本部」と「価値創造本部」を新設

6月 23日 新経営体制がスタート

現状を真摯に受け止め、この3か年を“**基盤再構築期**”と位置づけ、
来る“**飛躍期**”に備える計画へと抜本的に見直し



8月 7日 「パスコグループ中期経営計画 2023-2025」を公表

基本方針

“真に信頼される企業経営”への変革を第一に、
空間情報の活用による新たな市場戦略の礎を築く

計画構成

経営の真価計画

社会に存在を期待され、持続可能な企業経営を維持するため、経営理念を重視した健全な経営を遂行するための計画を定め、パスコの真の価値を再構築する

事業の進化計画

持続可能な地球環境の創出及び社会基盤の構築に貢献するため、3つの“しんか（深化・伸化・新化）”計画を策定し、空間情報事業の拡大・成長を目指す

経営の真価計画

公正・公平な 業務姿勢の徹底

不適切会計事案をふまえ、経営理念に立ち返り、明確な基準にもとづく公正・公平な業務姿勢のさらなる徹底を図り、安定した業務環境の構築を目指す

企業風土刷新本部

ステークホルダーとの 信頼構築

持続可能な企業経営の姿勢や活動状況を社会に示し、約束することで、ステークホルダーとの信頼関係を醸成。情報発信のスタイル、表現方法を磨き上げ企業価値の向上を目指す

価値創造型人材の 育成

最高レベルの空間情報を提供するために、真の適材適所の人事戦略とともに、未来力をもつ価値創造型の人材の育成を目指す

パスコDXの強化

サイバー攻撃への対応を含む情報セキュリティ強化、多様な働き方に対応するための管理や事務処理の自動化・省力化により、安全・快適な事業環境を目指す

環境に配慮した事業活動への転換

空間情報事業を通じて安心して豊かな社会システムを構築する中で、低炭素社会の実現に向けて、企業活動における明確な目標を設定し達成を目指す

事業の進化計画

既存事業の革新・強化 「深化」

既存事業（受託事業）に革新的な技術やプロセスを導入し、高い技術力の維持、事業の拡大とともに、生産効率や品質の向上を図る

持続可能な事業の拡大 「伸化」

新たにパスコの存在意義を発揮できる市場領域の拡大を図るとともに、継続契約型サービス事業の充実を目指す

多様性による新たな事業創造 「新化」

従来発想の範囲にとどまらない多様な人材、組織との融合により、新たな事業創造に向けた活動を継続的に行い、革新的な商品やサービスを創出する

価値創造本部

3つの“しんか”を促進する基盤技術×先進技術の強化

積極的な投資によって、パスコの強みである空間情報の基盤技術（はかる・くらべる・みせる）をさらに磨くとともに、先進センシング技術や強いAI技術、XR技術などの先進技術の基礎研究・開発を強化し、自動化や超空間、未来予測などの空間情報のイノベーション（つなぐ・ひろめる・いかす）を実現する

3つの“しんか”で事業を拡大

2023年度

基盤再構築期

2025年度

飛躍期

新化：多様性による新たな事業創造

仮想空間（メタバース）、モビリティ（ドローン・自動運転）、プラットフォームビジネスなどをはじめとする新領域

伸化：継続契約型サービスによる持続可能な事業の拡大

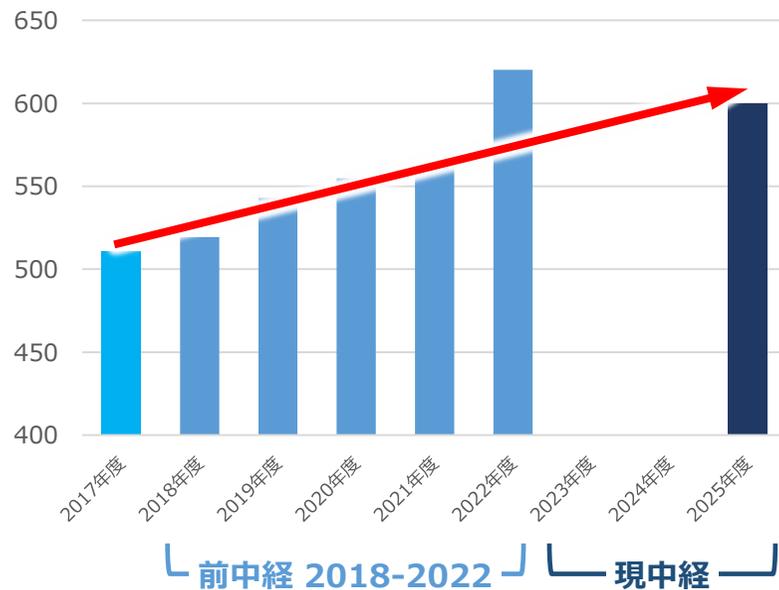
行政機関、エリアマーケティング、物流・不動産向けのクラウドサービス、スマート森林、IoT遠隔監視、3次元可視化、衛星付加価値サービスなどのソリューション提供・空間情報コンテンツ販売領域

深化：既存事業（受託事業）の革新・強化による安定的な収益の確保

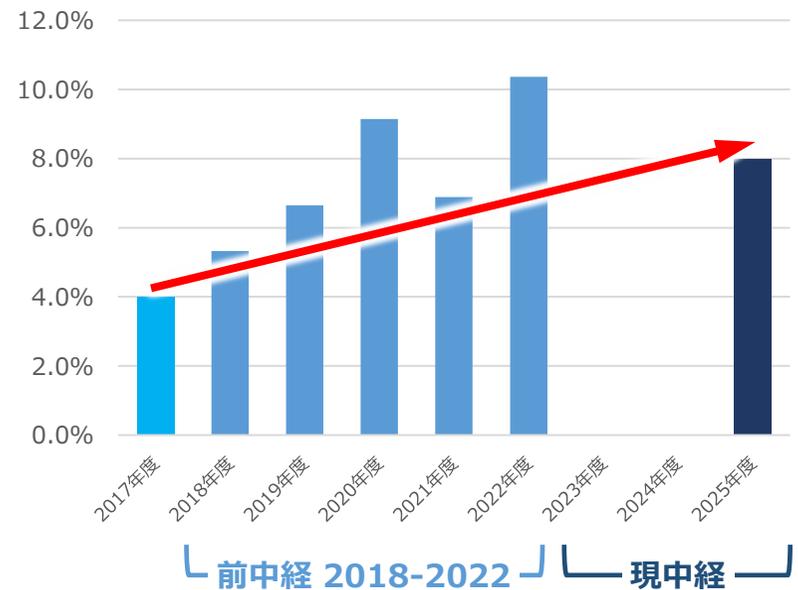
道路・橋梁管理、固定資産評価、上下水道管理、まちづくり、河川管理、防災・減災、森林保全、農業、港湾、環境調査、風力発電対策、文化財などを通じた行政のDX・デジタル化領域

数値目標

連結売上高 **600億円以上**



連結営業利益率 **8.0%以上** の安定的確保



ROE (自己資本利益率) **10.0% 以上**

パスコグループ中期経営計画

【3】2023-2025 当期の活動状況

“経営の真価” 計画：主な活動状況

“真に信頼される企業経営”への変革：その1 公正・公平な業務姿勢の徹底を中心に 企業風土の刷新に向けた取り組みを継続中

全社の双方向コミュニケーションによる意思疎通の強化と教育研修

経営陣の意識改革／経営陣の意識が全社に伝わるメッセージの発信
現場発案による企業風土改革／意識や危機感を共有する研修

正しい経営のためのルール改定と基盤システムの強化・改修を継続

人材の流動性の促進と人事評価制度のさらなる改善
実行予算の見直しとモニタリングの強化／社内システムのDX化推進

“経営の真価” 計画：主な活動状況

“真に信頼される企業経営”への変革：その2

持続可能な企業成長に向けて優先的に取り組む

経営上の課題を重要事項（マテリアリティ）として特定

重要課題（マテリアリティ）を特定し公表（3月24日）

お客様視点のサービス／先端技術の活用とパートナーシップ
社員の自己実現とダイバーシティ／人権尊重と誠実な企業活動
脱炭素・循環型社会／地域コミュニティとの共生

「サステナビリティレポート」の発行を計画

2023年12月上旬、「サステナビリティレポート」の発行に向け編集中

“事業の進化” 計画：主な活動状況

市場戦略の礎を築く：その 1

3次元技術の活用を推進して社会課題の解決に取り組む

メタバースによる地域振興

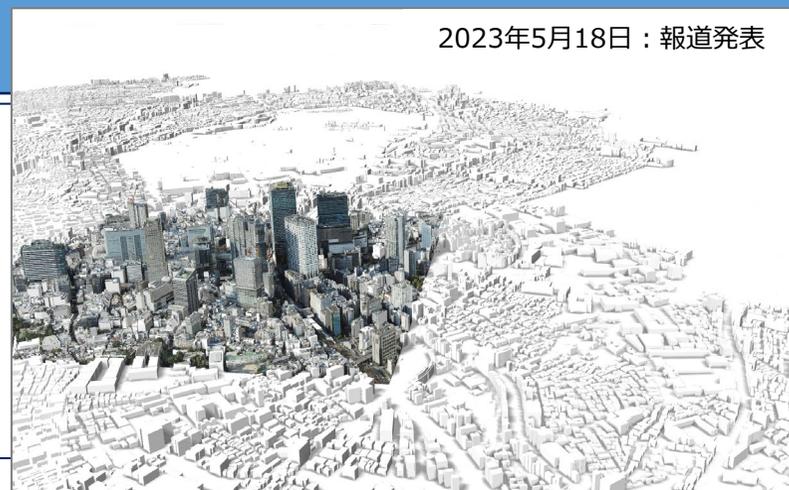
2023年4月13日：報道発表

「宝の島・天草」でメタバースを活用した実証プロジェクトを実施
3次元デジタル技術を融合した地域振興を目指す

3次元情報のプラットフォーム構築を推進

2023年5月18日：報道発表

3次元地理空間データの配信プラットフォーム
「TerraVerse（テラバース）」の提供を開始



“事業の進化” 計画：主な活動状況

市場戦略の礎を築く：その2 (1/3)

地方行政の業務効率化を目指した実証実験に取り組む

河川管理の目視点検ゼロを目指して

2023年4月27日：報道発表

AI技術と3次元レーザー計測技術で
河川管理のDX化を推進

氾濫の原因となる河道への土砂堆積の状況を
職員が目視点検していた従来手法に対して
航空写真から、土砂堆積の発生・拡大箇所
をAI画像判読技術で抽出し、現地調査箇所
を絞り込み3次元レーザー計測を実施



“事業の進化” 計画：主な活動状況

市場戦略の礎を築く：その2 (2/3)

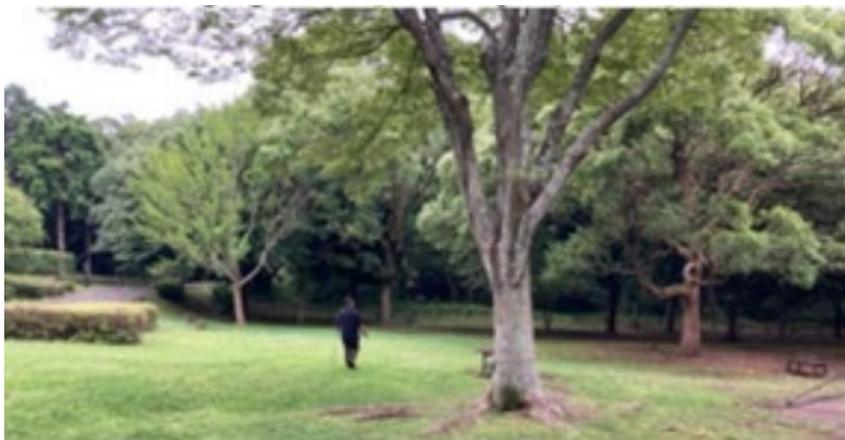
地方行政の業務効率化を目指した実証実験に取り組む

公園内樹木調査の効率化を目指して

2023年7月7日：報道発表

3Dレーザー計測技術で公園管理のDX化を推進

公園の防犯、安全、景観の維持のため、樹種や幹周・樹高、剪定時期や手法を計画・管理・実施



“事業の進化” 計画：主な活動状況

市場戦略の礎を築く：その2 (3/3)

地方行政の業務効率化を目指した実証実験に取り組む

防犯灯管理の一元化と効率化を目指して

2023年8月1日：報道発表

市民の安心・安全、犯罪被害の未然防止のため、約18万灯の防犯灯を設置し管理

防犯灯18万灯

従来



複数のファイルデータと地図で
防犯灯を管理

【課題】

- ・ 記載項目が不統一
- ・ 情報の検索・特定と更新・分析に
時間と手間がかかる など

統合型GISの活用で防犯灯管理を効率化

横浜市統合型GIS
の有効活用



実証③ 防犯灯情報の取り入れと維持管理台帳・帳票の様式の作成

実証② 内部業務での活用の実証

実証③ モバイル端末による現地業務での実証

評価・検証、課題改善点の整理

“事業の進化” 計画：主な活動状況

市場戦略の礎を築く：その3

企業連携で地方行政の業務効率化サービスを開始

GIS自治体クラウドサービスの強化

2022年7月28日：報道発表

管総研が開発・販売する上水道管路管理システム「WATERS」
パスコは、OEM（ライセンス）提供を受け、
GIS自治体クラウドサービス「PasCAL for LGWAN」のラインナップとして、
2023年4月よりサービス提供を開始



“事業の進化” 計画：主な活動状況

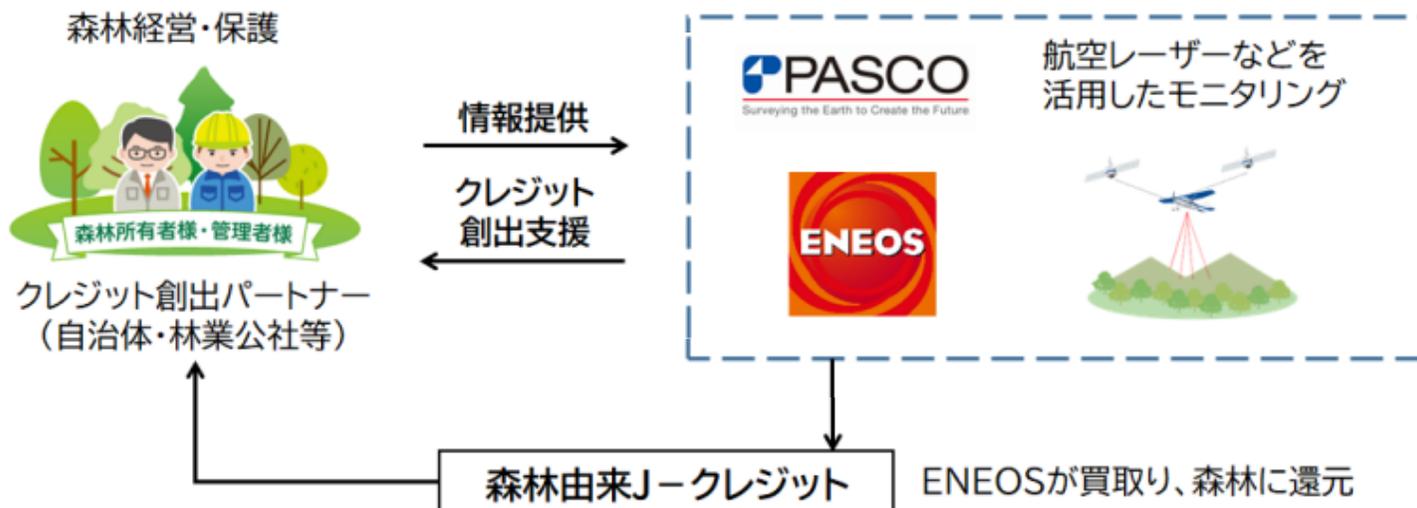
市場戦略の礎を築く：その4（1/2）

企業との連携により社会課題の解決に取り組む

森林由来のJ-クレジット創出

2023年5月11日：報道発表

航空レーザー計測を活用した森林由来J-クレジット創出事業における連携



“事業の進化” 計画：主な活動状況

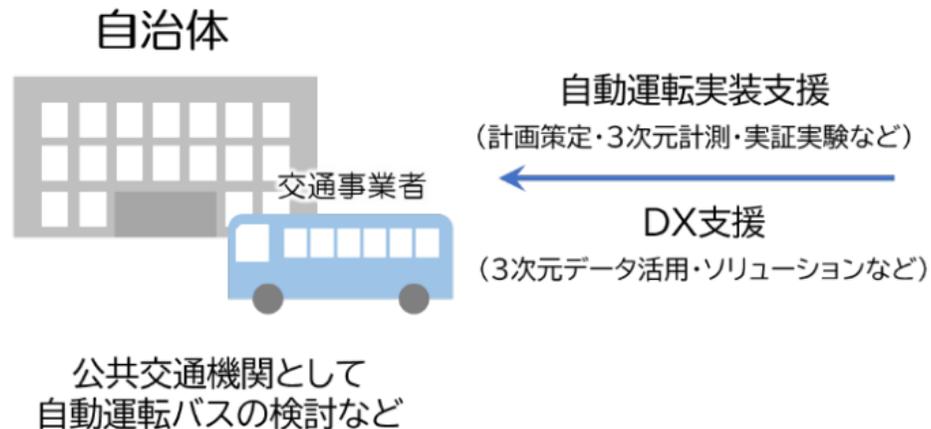
市場戦略の礎を築く：その4（2/2）

企業との連携により社会課題の解決に取り組む

自動運転と、DXの普及促進で地方創生

2023年5月31日：報道発表

地域公共交通の課題解決を目指した自動運転実装支援
3次元データの利活用によるDX推進分野の事業創出



AISAN
TECHNOLOGY CO.,LTD.

PASCO
Surveying the Earth to Create the Future

地域公共交通における自動運転の普及促進
3次元データを活用したDX推進

The diagram features the logos of Aisan Technology Co., Ltd. and Pasco. Below the logos, it states their joint initiative: "Promotion of autonomous driving in regional public transport" and "DX promotion utilizing 3D data".

“事業の進化” 計画：主な活動状況

市場戦略の礎を築く：その5

海外政府機関との連携により社会課題の解決に取り組む

ASEAN市場での新たな事業創出

2023年8月30日：報道発表

タイ地理情報・宇宙技術開発機関（GISTDA）と基本合意書を締結



パスコグループは、
この3か年を“**基盤再構築期**”と位置づけ
“真に信頼される企業経営”への変革を第一に取り組み
来る“**飛躍期**”に備え
空間情報の活用による新たな市場戦略の礎を築く
ことに邁進してまいります

投資家の皆様におかれましては、
今後とも、ご支援、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます



お陰様で、創業70周年



株式会社パスコ <会社プロフィール>

【創業年月】	1953年10月
【事業所】	本社 東京都目黒区（全国59事業所）
【代表者】	代表取締役社長 高橋 識光
【資本金】	87億5,848万円（2022年3月末現在）
【連結売上高】	620億円（2023年3月期）
【従業員数】	連結：2,848名（2023年9月末現在）
【グループ会社】	連結子会社：9社、関連会社：1社（2023年3月末現在）
【主な株主】	セコム株式会社

■ IRに関するお問い合わせ E-mail：9232-IR@pasco.co.jp

本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。

本資料に記載された今後の戦略や予測等は、資料作成時点において弊社が合理的と判断したものです。

実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があり、そのとおりに実現することを保証するものではありません。また、本資料は今後予告なしに変更されることがあります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は一切責任を負いませんのでご承知おきください。